

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

参考資料

令和7(2025)年1月23日

協議会名: 上三川町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
関東交通株式会社	<p>上三川町デマンド交通 名称:「かみたん号」 営業区域:町内全域 町外9施設 運行日:平日 運行時間帯: 8時から18時まで 運賃:大人町内300円 大人町外450円 小学生 150円 未就学児 無料</p>	<p>住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたいとの評価については、現在のマイカー利用者など、今後かみたん号の利用者になり得る住民に対して、かみたん号の存在や特性の周知を行った。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>B 目標:15,200人以上 利用実績:16,221人 目標:収支率20.0%以上 実績:15.3% 分析:利用者数は目標を達成することができたが、収支率は達成できなかった。</p>	<p>・今後もアンケートを実施し、住民のニーズの把握に努め、必要に応じ見直すことで、利用者の評価の改善に繋げる。 ・利用方法等の周知を強化することで、町民にデマンド交通の特徴を理解してもらい効率的に乗合を増やし、収支率の向上を目指す。 ・土曜日運行の実証実験について検討する。</p>
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>前回の評価を踏まえ、住民への理解を深めるような取り組みを実施し、利用者数において目標を達成されていることを評価する。 また、今後、利用方法の周知の強化に取り組まれることについては、第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)も今後の検討の参考としていただきたい。 ・デマンド交通で乗車人数が目標を達成されたことは素晴らしい。 ・利用者が増加した要因(外出の増加、自家用車利用からの転換、路線バスからの転換等)を分析し、把握することも検討していただきたい。 ・導入している交通によって市民(町民、村民)の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。</p>				

事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	上三川町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	上三川町地域公共交通の基本方針:町民と来訪者が”安心・安全”に往来できる持続可能な公共交通ネットワークのあるまちを実現する 上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性:公共交通空白地の解消及び高齢者や自動車免許を持たない者等の移動手手段の確保を図る